



Vol.4

発行：
平成18(2006)年12月



目次

- 1 「かわさきチャレンジ・3R」推進中！パート3
- 2 かわさきチャレンジ・3Rクイズ
- 3 チャレンジ・3R特集
「かわさき生ごみリサイクルプラン(素案)」
に対するご意見を募集します。
- 4 お知らせ他

「かわさきチャレンジ・3R」推進中! パート3

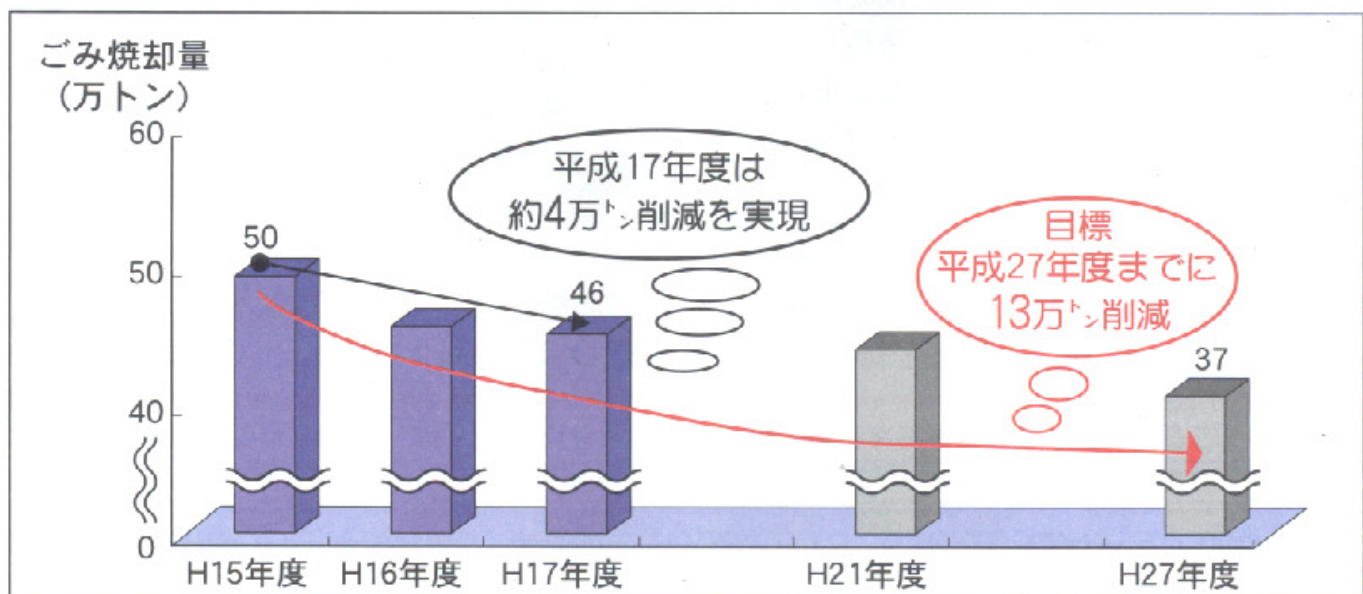
「かわさきチャレンジ・3R（＝川崎市一般廃棄物処理基本計画）」は、市民・事業者・行政が丸となって3R(※)を基本にごみの減量・リサイクルを推進していくための目標や具体的な取組を定めたものです。今号では、計画目標の①ごみの発生抑制の推進、②リサイクルの推進、③焼却量の削減のうち、③焼却量の削減についてご紹介します。

目標3

ごみ焼却量を **13万トン** 削減します。

平成17年度の川崎市のごみ焼却量は、**46万トン**

ごみ焼却量は、目標(13万トン削減)の約**30%**にあたる
約4万トンの削減を実現することができました。



ごみの焼却量の推移と目標値

——— もったいないからはじめよう！ チャレンジ・3R ———



かわさきチャレンジ・3Rクイズ

Let's Try

川崎市のごみ処理に関するクイズです。以外と難問が多いかも！？あなたは
いくつ正解するでしょうか……。ぜひ挑戦を！！

Q.1

ごみ焼却後に出る焼却灰は、臨海部にある浮島廃棄物埋立処分場に埋立てています。このまま処分場を使い続けた場合、あと何年焼却灰を埋め立てることができる？

- A 約10年
- B 約20年
- C 約50年



Q.2

市民1人が1年間に出した家庭ごみの総量(*)は、どのくらいの量？
(平成17年度実績)

- A 約150キログラム
- B 約200キログラム
- C 約250キログラム



※普通ごみ、空き缶や空きびんなどの資源物、粗大ごみなど、市が収集した家庭ごみの総量

Q.3

家庭ごみの処理費用(*)は、1年間にいくらかかっている？
(平成16年度実績)

- A 約180億円(1人あたり約14,000円)
- B 約200億円(1人あたり約16,000円)
- C 約230億円(1人あたり約18,000円)

※普通ごみ、空き缶や空きびんなどの資源物、粗大ごみなど、市が収集した家庭ごみの処理費用

Q.4

家庭ごみの内訳(*)で、35.7%と最も高い比率を占めるごみは？
(「市民ごみ排出実態調査(H15年度)」より)

- A 紙類
- B プラスチック類
- C 厨芥類(生ごみ)



※家庭から出るあらゆる“ごみ”を組成ごとに分類した重量比による内訳

Q.5

町内会・自治会等の住民組織団体からの推薦に基づき、市長が委嘱した方で、ごみの減量や排出指導などの活動をしている地域のボランティアリーダーの名称は？

- A 分別収集推進員
- B 廃棄物減量指導員
- C ごみ減量リーダー

何問正解しましたか？

たくさんのごみを処理するために、多くの費用がかかっています。

ごみの減量は、埋め立て処分場の延命化につながります。

地域の廃棄物減量指導員さんと協力し合い、ごみの減量・リサイクルを推進しましょう！



Q.3→A (178億6千4百万円、1人あたり13,678円) Q.4→C Q.5→B

Q.1→B Q.2→C (約258キログラム)



「かわさき生ごみリサイクルプラン(素案)」 に対するご意見を募集します。

「(仮称)かわさき生ごみリサイクルプラン」策定検討会議の中間報告書に対するご意見を募集し、みなさまからの多数のご意見を反映し報告書が完成しました。この報告書に基づき、市がプランの素案を作成しましたので、みなさまからご意見を募集します。



「かわさき生ごみリサイクルプラン」ってどんな計画なの？

基本理念

持続可能な循環型の生ごみ
リサイクルシステムの構築を目指して
～楽しくチャレンジ生ごみダイエット！～

基本方針

- 1 生ごみの発生・排出抑制を基本とすること
- 2 地域の特性を活用した生ごみリサイクルシステムを構築すること
 - (1) 地域コミュニティを基盤とした小さな循環の構築
 - (2) 事業系生ごみを中心とした大きな循環の構築
- 3 幅広い連携を図り、総合的に生ごみリサイクルを推進すること

市民・事業者・行政が協働して生ごみ減量・リサイクルの推進に向けた様々な取組を行います。

市民の役割

- ★生ごみを出さない工夫
- ★出た生ごみはリサイクル

市の役割

- ★市、自らの取組
- ★リサイクルシステムの構築や情報提供
- ★環境教育・学習の場の提供

事業者の役割

排出事業者

相互の連携

- ★生ごみ減量への取組

販売事業者

- ★市民の生ごみ減量を促す取組

農家・JA

- ★生ごみ肥料・堆肥の活用

市の具体的な取組

1 発生・排出抑制の推進

生ごみ減量・リサイクルの基本は、発生排出抑制です。家庭と事業所から出る生ごみの発生・排出抑制を進めていきます。

2 小さな循環の拡大

家庭単位での生ごみリサイクルを推進し、さらに、関心のある地域の人々が農家と協力して循環をつくり、地域単位での連携によるリサイクルを進めます。



地域の特性を生かした取組を行います。

3 大きな循環の導入・検討

民間事業者の運営するプラント等で肥料・堆肥化・バイオマスとしての利用などを行えるよう、生ごみリサイクル施設建設を目指した取組を行います。

4 情報交流や環境教育の推進

生ごみリサイクルを推進するため、広報等により、市民・事業者の意識啓発や情報交流、環境教育を推進します。

5 生ごみリサイクル推進体制の整備

生ごみリサイクルを推進していくため、市民組織や庁内組織を設置すると共に、研究機関や民間企業とも連携していきます。

プランの概要版・本編はインターネット、各区役所・図書館・生活環境事業所などでご覧になることができます。

<http://www.city.kawasaki.jp/30/30genryo/home/namagomi-recycle/index.html>

このプランに対するみなさまからのたくさんのご意見・ご感想をお待ちしています。

ご意見・ご感想は、12月22日(金)までに郵送・電話・電子メール・FAXにてお寄せください。

電話：200-2605 FAX：200-3923 E-mail：30haise@city.kawasaki.jp

あて先：〒210-8577(住所はなくても届きます。) 環境局廃棄物政策担当



ちょっと一息…

ごみが生み出すクリーンエネルギー

～「石油依存型」社会から「持続可能」な社会へ～

このところ、世界的に石油価格が高騰しています。石油エネルギーに依存して暮らしている私たちに

とって、石油価格の高騰は深刻な問題です。

石油は、「化石燃料」と総称される生物由来のエネルギー源の一つであり、現在確認されている限り
で約1兆3,000億バレル（1バレル＝約160リットル）の埋蔵量があると推定されています。世界中で年
間約300億バレルの石油が使われており、このペースで石油を使い続けた場合、約40年で全て使い尽
くしてしまうといわれています。最近では、経済発展の著しい中国（人口13億人）やインド（人口11
億人）で、石油の消費量が飛躍的に増加していることから、石油枯渇のペースはさらに早まることが懸
念されています。

我が国においても、石油に代わる「新エネルギー」として、現在、太陽光や風力等
の自然エネルギーに加え、（これまで有効活用されてこなかった）バイオマスエネ
ルギーの利用について、研究が進められています。例えば、生ごみなどから「メタン」
（都市ガスの主成分）を作ったり、さらにメタンから「水素」を取り出して、燃料電
池※と組み合わせたり、世界中で「脱石油」に向けた取り組みが行われています。



※燃料電池：「水素」と「酸素」を使って発電するもの。発電効率が高いことによるCO₂削減や、
排出されるのは水だけであることなど、環境問題とエネルギー問題の同時解決が期待できる。

お知らせ



ごみ収集日の変更及び 「かわさき生ごみリサイクルプラン（素案）」に 関する説明会の開催

平成19年4月1日から川崎市のごみ収集日の変わることに付いて、下記の日程で説明会を開催いたします。
また、今年度策定を予定している「かわさき生ごみリサイクルプラン（素案）」についても併せて説明を行
います。

- 日時・場所： 平成18年12月7日（木）午後 6時～ いさご会館2階ホール
平成18年12月8日（金）午後 6時～ 多摩市民館大会議室（多摩区役所3階）
平成18年12月9日（土）午前10時～ 高津市民館大会議室（ノクティ2 12階）
- 参加自由 （参加希望の方は当日各会場へお越しください。）

編集後記

最近ではガソリン代が高いですね。もともと車はあまり使わない方だったのですが、
意識して自転車を使うようにしています。購入10年以上のマウンテンバイクに油をさしながら乗っています。
これで走っていると風が気持ちいいんです。若い頃にサイクリングに熱中して箱根峠や碓氷峠を越えたことを
思い出します。CO₂は出さないし、駐車場代もかからない。足腰も強くなるかな。車なしの生活もいいのかな
という気がしています。（K）

編集・発行／〒210-8577（住所はなくても届きます）川崎市環境局廃棄物政策担当

（電話）200-2580（電子メール）30haise@city.kawasaki.jp



ごみ・リサイクルに関するHP/<http://www.city.kawasaki.jp.30/30genryo/home/menu/htm>



川崎で世界一が決まる。

第3回アメリカンフットボールワールドカップ2007川崎大会

2007年7月7日（土）～7月15日（日）川崎球場・等々力陸上競技場